

県政トピックス

8/25 [火] 「新 JAPAN PROJECT」鹿児島県・JAL共同記者会見



▲霧島市のリゾート施設で行われた共同記者会見

日本航空株式会社による地域連携施策「新 JAPAN PROJECT」について、同社の赤坂祐二社長と塩田知事が共同記者会見を行いました。

同プロジェクトでは、機内誌や国内線ファーストクラスの機内食などを通じて本県の魅力を発信するほか、マイルプレゼントにより誘客を図ることとしております。

会見では、赤坂社長から「観光にとつて大事な時期だからこそ、自然や歴史、文化、食、全てが一級品の観光資源を有する鹿児島県をプロジェクトの対象とした」との話がありました。

県では、今後もさまざまな機会を通じて、魅力発信と観光客誘致に取り組んでまいります。



▲国内線ファーストクラスで提供された県産食材を使った機内食

- ★8月21日(金) 新型コロナウイルス感染防止対策実施宣言ステッカー開始
- ★8月22日(土)~8月23日(日) 「木育インストラクター」養成
- ★8月25日(火) 「新 JAPAN PROJECT」鹿児島県・JAL共同記者会見
- ★8月25日(火)~8月28日(金) 第74回全国茶品評会
- ★8月28日(金) 第12回全国和牛能力共進会
- ★8月29日(土) マスコットキャラクター・名称決定
- ★9月1日(火) 甌大橋開通式
- ★9月1日(火) 外国人材の受け入れに関する企業向け相談窓口設置
- ★9月2日(水) 東京2020オリンピック聖火リレーの展示
- ★9月3日(木) 令和2年度鹿児島県地方創生推進有識者懇話会
- ★9月9日(水) 鶴丸城御楼門復元協力寄附金記念碑の除幕式開催
- ★9月11日(金) 台風第10号への対応
- ★9月20日(日)~9月26日(土) 認知症を理解し一緒に歩む県民週間
- ★9月25日(金) 駐日サンマリノ共和国特命全権大使による知事表敬訪問
- ★10月2日(金) ドルフィンポイント跡地におけるイベントスペースの利用開始
- ★10月8日(木) 2023年の特別国民体育大会開催決定

8/25 [火] 第74回全国茶品評会



▲茶葉の形状や色沢を評価する審査員



▲お茶の水色を評価する審査員

第74回全国茶品評会が、8月25日から28日にかけて、鹿児島市で開催され、普通煎茶をはじめとする7茶種8部門に、全国から987点の出品がありました。

審査の結果、「普通煎茶10kg」の部で、南九州市が産地賞(団体1位)を受賞し、本県は17年連続で産地賞受賞となりました。個人では、6名の方が特別賞(1等)を受賞されたほか、「普通煎茶4kg」、「深蒸し煎茶」、「かぶせ茶」、「釜炒り茶」の部門においても多数の入賞がありました。

本県の茶は、多様な茶種において優れた品質であることが評価され、全国で常にトップレベルであることを改めて示す結果となりました。

8/21 [金] 新型コロナウイルス感染防止対策実施宣言ステッカー開始



▲新型コロナウイルス感染防止対策実施宣言ステッカー ※県民の皆さんは、お店を選ぶ基準の一つとしてこのステッカーをご活用ください。



▲ホームページはこちら

県では、事業者の方々に新型コロナウイルスの感染防止対策に積極的に取り組んでいただくとともに、県民の皆さんが安心して利用できる施設や飲食店などの「見える化」を図るため、店舗(施設)に掲示できるステッカーを作成しました。

新型コロナウイルス感染防止対策の基本的事項の全てを実施する県内事業者(全ての業種)が対象となり、県ホームページで必要事項を登録(実施項目のチェックなど)していただくことで「実施宣言書」とステッカーを取得することができます。

また、県ホームページで宣言事業者を随時公開し、県民の皆さんへお知らせしています。ぜひご活用ください。

8/28 [金] 第12回全国和牛能力共進会 マスコットキャラクター・名称決定



▲(左から)塩田知事、濱島にいさん、本村実希さん



▲マスコットキャラクター「かごうしママ」

令和4年10月に本県で開催される第12回全国和牛能力共進会のマスコットキャラクターの名称が「かごうしママ」に決定しました。

8月28日には、デザインを考案した鹿屋市在住の本村実希さんと、名付けた長島町在住の濱島にいさんを塩田知事が表彰しました。

「かごうしママ」は、「鹿児島」、「牛」、「お母さん」というキャラクターの大事な要素が全て入っており、わかりやすく、覚えやすい点が評価されました。

今後は、この「かごうしママ」を活用したPR活動を通じて、多くの方々に鹿児島大会にご来場いただけるよう準備を進めてまいります。

8/22 [土] 8/23 [日] もくいく 「木育インストラクター」養成



▲県内初の木育インストラクター



▲木製の椅子を製作する受講者

県では、木材を使ったもの作りなどを通して、木の良さや利用の意義を学ぶ「木育」の取り組みを進めています。その一環として、木育に関する知識や技能を有し、木育活動を行う指導者「木育インストラクター」を養成しており、今回、新たに14名が誕生しました。

木材や幼稚園関係者などさまざまな方々が養成講習会を受講し、木材の知識や木育の企画立案方法などについて学んだほか、木製椅子の製作に取り組むなど、木育活動の実践のための技術を習得しました。

今後、県内各地の保育園やイベントなどで、木育インストラクターが活躍することで、木の良さへの理解が深まり、木材の利用が広がることを期待されます。

9/2～
[水]

東京2020オリンピック聖火リレートーチの展示



▲ 県庁行政庁舎に展示されている聖火リレートーチ



▲ 上から見たときの形も確認できるようにしている

9月2日から、県庁行政庁舎1階ロビーにおいて、東京2020オリンピック聖火リレートーチの展示を行っています。

この聖火リレートーチは、日本人になじみ深い花である桜をモチーフにしており、桜ゴールドの色味やトーチを上から見たときの形が、特長となっています。

聖火リレートーチを間近で見られる貴重な機会ですので、ぜひご覧ください。

なお、ご観覧にあたっては、順番待ちの際のマスク着用や人と人との距離の確保など、新型コロナウイルスへの感染防止対策への協力をお願いします。

9/9
[水]

鶴丸城御楼門復元協力寄附金記念碑の除幕式開催



▲ 場所：歴史・美術センター黎明館敷地内（御楼門裏手、黎明館正面）

県と民間の鶴丸城御楼門復元実行委員会が構成する「鶴丸城御楼門建設協議会」が、鹿児島市の支援も得て、官民一体となって建設を進めてきた鶴丸城御楼門が今年3月末、147年ぶりに復元されました。

これを記念し、復元にあたって10万円以上の寄附をいただいた方々の御芳名を記した記念碑を建立し、その除幕式を開催しました。

多くの皆さまから寄附をいただき、誠にありがとうございました。

今後も、御楼門を生かした魅力ある鶴丸城跡の景観形成に努め、新たな観光拠点として活用されるよう関係機関と連携しながら取り組みを進めてまいります。



▲ 記念碑の除幕の様子

9/11
[金]

台風第10号への対応



▲ 日置市の江口海岸の被災状況の確認

9月6日から7日にかけて本県に接近した大型で非常に強い台風第10号により、本県においては、1名の方がお亡くなりになられたほか、大雨や暴風による停電、断水や住宅の全壊などの住家被害、公共土木施設や農作物などの被害が発生しました。

9月11日には、塩田知事が日置市の江口海岸と指宿市の長崎鼻海岸の被災現場を視察し、被害の状況を確認しました。

県としては、県民生活に支障が生じないよう、市町村などとも連携して、早期復旧に向けた取り組みを進めるとともに、今後とも県民の安心・安全が図られるよう、防災・減災対策にしっかりと取り組みを進めてまいります。



▲ 長崎鼻海岸の被災現場